

2020年10月12日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4 社長：柏原正人）は、美容分野のスキンケア用ゲルにおいて、多様化するお客様の要望に迅速に応えるため、処方開発のAI化に、富士通株式会社（以下、富士通）、株式会社富士通エフサス、Ridgelinez株式会社と共同で取り組み、新しい開発スタイルを基にしたゲル製品の提供を開始しました。

## テクノゲル® AI-FITを開発

### 1. 背景

「テクノゲル」は、肌にやさしいスキンケア用のマスク素材として広く使われています。当社では、肌への密着性が高く、持続的に潤いを与える化粧品マスクの自社製品化やOEM対応を行ってきました。

従来、化粧品マスクの評価では、使用感として「みずみずしい、しっとり感を得られる」といった官能的な表現となることから、お客様の要望と処方開発とのすり合わせに時間がかかり、開発課題となっていました。

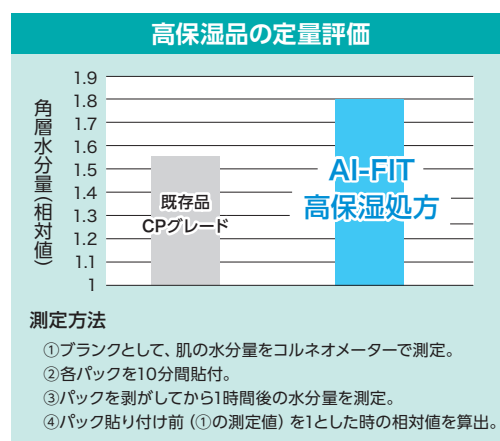


化粧品マスク使用例

### 2. 概要

このような課題を解決するため、官能評価の定量化に注力するとともに、富士通のAI技術「Zinrai」を活用して化粧品マスク処方提案システムを開発しました。この取り組みにより、官能評価を数値化できたことで、より多様なニーズに迅速に応えられるようになりました。

一例として、特にお客様の要望の多い高保湿性について処方を導き出した結果、従来品よりもしっとり感が持続し、保湿効果（角層水分量）が向上することが定量的に明らかとなっています。現在、サンプル提供を開始し、お客様にも効果が実感できると好評です。



### 3. 今後の展開

今後、お客様のご要望に迅速に応えられるシステムとして認知度向上を図るとともに、「テクノゲル AI-FIT」から導かれる製品のラインナップ化を進め、さまざまな活用シーンに対応する化粧品ゲルマスクの提供をはじめとして、各種製品化に取り組んでいきます。

以上